

第2日目[7月6日(日)]研究発表

研究発表1：口頭発表

7月6日(日) 9:30～10:50

1-A 大学入学共通テスト、教科等横断的な学び

[会場：A 会場 5-401 教室]

座長： 藤岡 健史(京都市立日吉ヶ丘高等学校), 林 宏樹(雲雀丘学園中学校・高等学校)

1-A-1	大学入学共通テスト「情報Ⅰ」校内実施結果の比較分析—複数校における他教科との関連性の検証—	2
	○ 藤岡 健史 (京都市立日吉ヶ丘高等学校) 中村 央志 (京都市教育委員会)	
1-A-2	探究学習と情報科教育の連携事例	4
	○ 山下 裕司 (山口県立岩国高等学校)	
1-A-3	アプリケーションによる異校種間の情報科教育の学びの接続性の模索—プログラミング教育用アプリケーション「ドロフィン」の開発を通して—	8
	○ 安谷 元伸 (四條畷学園短期大学) 合田 誠 (四條畷学園短期大学) 北村 瑞穂 (大阪樟蔭女子大学)	
1-A-4	データ可視化と他教科連携教材としての活用	10
	○ 室谷 心 (松本大学)	
1-A-5	情報Ⅰと探究の連携を目指した「統計的な問い」の分類と構成要素の分析	12
	○ 林 宏樹 (雲雀丘学園中学校・高等学校) 増井 貴明 (雲雀丘学園中学校・高等学校) 古賀 竣也 (熊本大学)	

研究発表1：口頭発表

7月6日(日) 9:30～10:50

1-B プログラミング教育、教材開発

[会場：B 会場 5-402 教室]

座長： 伊藤 大貴(大分県立日田高等学校), 天川 勇二(野田学園中学高等学校)

1-B-1	アダプティブラーニングを取り入れたプログラミング学習教材の開発	14
	○ 伊藤 大貴 (大分県立日田高等学校) 中原 久志 (大分大学)	
	杉山 昇太郎 (大分大学)	
1-B-2	生成AIを利用したプログラミング支援システムの開発 ― マイコンボードへの応用 ―	16
	○ 天良 和男 (元東京都立日比谷高等学校・元東京学芸大学)	
	川瀬 賢二 (株式会社 アーテック)	
1-B-3	LLMを用いたリアルタイム型プログラミング支援システム	18
	○ 後藤 孔 (早稲田大学)	
1-B-4	高等学校における生成AIを用いたペアプログラミングによるプログラミング学習の実践	20
	○ 原田 紗希 (東京学芸大学) 萩原 浩平 (大成高等学校) 森本 康彦 (東京学芸大学)	
1-B-5	高等学校情報科におけるモブプログラミングの実践	22
	○ 天川 勇二 (野田学園中学高等学校) 堤 健人 (山口大学)	
	平田 篤史 (広島大学附属福山中・高等学校) 林田 智弘 (広島大学)	
	脇谷 伸 (広島大学) 木下 拓矢 (広島大学)	

研究発表2：口頭発表

7月6日(日) 11:00～12:20

2-A AI、システム・教材開発

[会場：A 会場 5-401 教室]

座長： 納庄 聡(大阪教育大学), 吉田 拓也(東大寺学園中学校・高等学校)

2-A-1	リフレクションを用いたデザイン思考学習モデルの開発	24
	○ 納庄 聡 (大阪教育大学) 若杉 祥太 (大阪教育大学)	
2-A-2	生徒が資質・能力の育成傾向を把握するための「情報科ダッシュボード」の開発	26
	○ 山口 大成 (東京学芸大学大学院) 萩原 浩平 (大成高等学校)	
	丸山 浩平 (東京学芸大学大学院) 森本 康彦 (東京学芸大学)	
2-A-3	基礎研究：ジャンケンに勝つ！その4 (AIとデータベース) -AIジャンケンコンピュータの仕組み-	28
	○ 齋藤 実 (元・埼玉県立芸術総合高等学校、東洋大学)	
2-A-4	キーボード得意な生徒が増えてきた！？ - 高校1年生のタイピングコンクール結果分析 -	30
	○ 木村 文彦 (福井県立美方高等学校)	
2-A-5	解釈の食い違いから考える中学校著作権教育の一考察	32
	○ 吉田 拓也 (東大寺学園中学校・高等学校)	

研究発表2：口頭発表

7月6日(日) 11:00～12:20

2-B 情報Ⅰ、問題解決

[会場：B 会場 5-402 教室]

座長： 後藤 貴裕(東京学芸大学附属高等学校), 萩原 浩平(大成高等学校)

2-B-1	データサイエンスを通して学ぶ課題解決に有効な能力の育成 ○ 後藤 貴裕 (東京学芸大学附属高等学校)	34
2-B-2	問題解決学習としての情報デザインの指導と評価の実践 ～情報デザインの2段階学習活動について～ ○ 小幡 信 (帝塚山学院大学) 高橋 参吉 (NPO法人 学習開発研究所) 佐藤 万寿美 (同志社女子大学) 西野 和典 (太成学院大学)	36
2-B-3	大学入学共通テスト「情報Ⅰ」におけるGIGA端末活用グループ学習の実践 ○ 植垣 新一 (駿台予備学校)	38
2-B-4	高校生によるAI活用ルール策定を題材とした問題解決力育成 ○ 近藤 千香 (東京科学大学附属科学技術高等学校) 玉田 和恵 (江戸川大学) 松田 稔樹 (江戸川大学)	40
2-B-5	高等学校「情報Ⅰ」における生徒が生成AIの役割を自ら切り替えて問題解決に取り組む授業の評価 ○ 萩原 浩平 (大成高等学校) 森本 康彦 (東京学芸大学)	42

研究発表3：口頭発表

7月6日(日) 13:30～14:50

3-A AI、システム・教材開発

[会場：A 会場 5-401 教室]

座長： 松島 拓路(崇城大学), 玉田 和恵(江戸川大学)

3-A-1	インストラクショナルデザインを基盤としたAI支援による高等学校情報科教師の作問・評価 力向上システムの設計	44
	○ 松島 拓路 (崇城大学) 久保田 真一郎 (熊本大学)	
3-A-2	高等学校情報科の問題解決における 生成AIの役割を自ら切り替えて活用するためのシステム を用いた実践	46
	○ 中沢 尚也 (東京学芸大学大学院) 萩原 浩平 (大成高等学校) 森本 康彦 (東京学芸大学)	
3-A-3	工業高校における画像認証技術を用いたAIプログラミング教材の開発と試用	48
	○ 篠崎 健一 (土浦工業高等学校)	
3-A-4	Raspberry Pi 5を用いたAIによるリアルタイム物体検出の教材開発と授業実践	50
	○ 中村 央志 (京都市教育委員会) 森 裕崇 (京都市立西京高等学校)	
3-A-5	問題解決場面で生成AIの活用を思考させるための教材開発	52
	○ 玉田 和恵 (江戸川大学) 松田 稔樹 (江戸川大学)	

研究発表3：口頭発表

7月6日(日) 13:30～14:50

3-B カリキュラム、大学入学共通テスト

[会場：B 会場 5-402 教室]

座長： 井手 広康(愛知県立旭丘高等学校), 阿濱 茂樹(山口大学)

3-B-1	2025年発行中学校技術科教科書における「情報の技術」の学習の特徴	54
	○ 小池 望央 (東京学芸大学教職大学院) 渡津 光司 (宮城教育大学)	
3-B-2	理工系学部入学生のコンピュータ操作スキルと指導要領改訂との関係	56
	○ 石田 雪也 (公立千歳科学技術大学) 砂原 悟 (公立千歳科学技術大学)	
3-B-3	情報科の「中核的な概念」を段階的に学ぶ指導計画の設計	58
	○ 大西 洋 (ノートルダム清心女子大学)	
3-B-4	生徒の「情報Ⅰ」の学習ニーズに関する調査研究 ～学習実態と大学入学共通テストの対策意識に着目して～	60
	○ 阿濱 茂樹 (山口大学) 堤 健人 (山口大学) 谷合 由章 (山口大学)	
	新田 拓也 (山口大学) 野村 厚志 (山口大学) 中田 充 (山口大学)	
	鷹岡 亮 (山口大学)	

研究発表4：口頭発表

7月6日(日) 15:00～16:20

4-A 教員養成課程、探究学習

[会場：A 会場 5-401 教室]

座長： 山田 雅之(九州工業大学), 丸山 浩平(東京学芸大学)

4-A-1	情報科教員養成課程の指導案作成における課題：授業目標と学習活動に関する事例検討 ○ 山田 雅之 (九州工業大学) 尋木 信一 (有明工業高等専門学校)	62
4-A-2	教職課程における情報科教育法の指導に関する一考察 ―大学初年次生の意識調査から― ○ 三好 哲郎 (横浜薬科大学)	64
4-A-3	情報Ⅰの学びをベースに発展させる探究の可能性 ○ 森本 岳 (京都産業大学附属中学校・高等学校) 石井 雅人 (京都産業大学附属中学校・高等学校)	66
4-A-4	総合型選抜を見据えた情報教育における探究的授業の実践報告 ○ 増田 優香 (大阪府立桜和高等学校)	68
4-A-5	生成AIを活用したeポートフォリオの可視化を用いた問題解決の「整理・分析」段階から「まとめ・表現」段階の学習支援方法の提案 ○ 丸山 浩平 (東京学芸大学) 山口 大成 (東京学芸大学) 萩原 浩平 (大成高等学校) 森本 康彦 (東京学芸大学)	70

研究発表4：口頭発表

7月6日(日) 15:00～16:20

4-B 生成AI、ワークシート・教材開発

[会場：B 会場 5-402 教室]

座長： 稲垣 俊介(山梨大学), 香山 瑞恵(信州大学)

4-B-1	生成AIの利用に対する高等学校情報科教員の意識と授業導入要因 ○ 稲垣 俊介 (山梨大学)	72
4-B-2	スリーステップインタビューを取り入れた生成AIの使い方を学ぶ授業の実践と 高等学校情報科への適用の検討 ○ 李 泰煥 (東京学芸大学) 萩原 浩平 (大成高等学校) 森本 康彦 (東京学芸大学)	74
4-B-3	生成AIを活用した教科「情報」におけるデジタルワークシートの開発 ○ 黒瀬 大翔 (山口大学) 篠田 卓弥 (山口県立山口中央高等学校) 鷹岡 亮 (山口大学) 中田 充 (山口大学) 阿濱 茂樹 (山口大学) 堤 健人 (山口大学)	76
4-B-4	「情報の表現」学習向け洗濯機ハンズオン教材の提案 ― ”符号化” と ”モデル化” での問題解決型学習の事例 ― ○ 香山 瑞恵 (信州大学) 永井 孝 (ものづくり大学) 舘 伸幸 (信州大学)	78